

# 花粉症





### 花粉症とは?

スギなどの花粉によって引き起こされるアレルギー性疾患の一種です。日本では、およそ60種類の植物が花粉症を引き起こします。現在、4人に1人が花粉症だと言われています。症状としては、鼻の三大症状(鼻水・く・しゃみ・鼻づまり)・目の痒み・涙・充血が主ですが、喉・皮膚の痒み・熱・つぽさが現れることもあります。



花粉は、日の出の時間帯から飛び始め、**お昼頃に飛散量はピーク**を迎え、15時頃まで多く続きます。夕方からは、気温も下がってくる為、花粉の量も減ってきます。

主な原因植物	花粉飛散時期
スギ	2月上旬~4月下旬頃
ヒノキ	3月中旬~4月下旬頃
ブタクサ	8月中旬~9月下旬頃
シラカンバ	4月上旬~6月下旬頃
ハンノキ	3月中旬~4月下旬頃
ヨモギ	8月中旬~10月上旬頃

## 花粉が飛びやすい日の条件

- 晴れの日
- ・ 気温が高い日
- ・湿度が低い日
- ・風の強い日
- ・雨が降った翌日、雨が上がった日





## 花粉症と風邪の違いは?

花粉症	症状	風邪
あり	目の痒み	なし
透明でサラサラ	鼻水	風邪の初期は透明でサラサラ、 後期はネバネバで黄色っぽくなる
微熱が出ることあり	発熱	微熱から高熱
花粉が舞う間	期間	1週間ぐらい
晴れ、風の強い時に悪化	天候	関係なし



#### 花粉症に効果のある飲食物は?





花粉症に効果のある飲み物・食べ物	効能
ヨーグルト	花粉症の症状を抑制する働きがある。
青魚(ニシン・ブリ・アジ・イワシ)	抗アレルギー作用。
生のトマト (ケチャップ、トマトジュースは×)	炎症を鎮める。
玉ねぎ	におい成分が花粉症の症状を緩和する。
ショウガ	炎症物質を抑える働きがある。
レンコン	レンコンに含まれるカテキンが、アレルギー症状を緩和す る。
バナナ	くしゃみを緩和させる。
キノコ類	豊富にビタミンが含まれており、免疫力が向上する。



## 花粉症のセルフケア

外出時は、眼鏡(**花粉症用の眼鏡**が最も効果的)、マスクをするようにしましょう。眼鏡、マスクを使用すると受ける花粉の量をおよそ 1/3~1/4 まで減少できます。コンタクトレンズの使用

は避けましょう。眼とコンタクトレンズの間に花粉が入り込み、擦れて眼を傷つけてしまうことがあります。



うがい・手洗い・洗顔は、症状が緩和しますが、 花粉が逆流して戻り、症状が悪化する場合も あるため、適度に行うようにしましょう。





帰宅時は、髪や衣服をよく払うようにしましょ

う。ウール製の服は花粉を付着させやすいので避けましょう。静電 気除去スプレーも効果的です。



花粉飛散量の多い時期は、窓・戸を閉め、止むを 得ず、窓や戸を開ける場合は、短 時間にし、後で床や窓際を掃除す

るようにしましょう。



花粉の飛散量が多い時は、ふ とんや洗濯物の外干しは、避 けましょう。



花粉量は、天候や気温等によって変わりますので、外出前には 花粉情報を確認しましょう。

